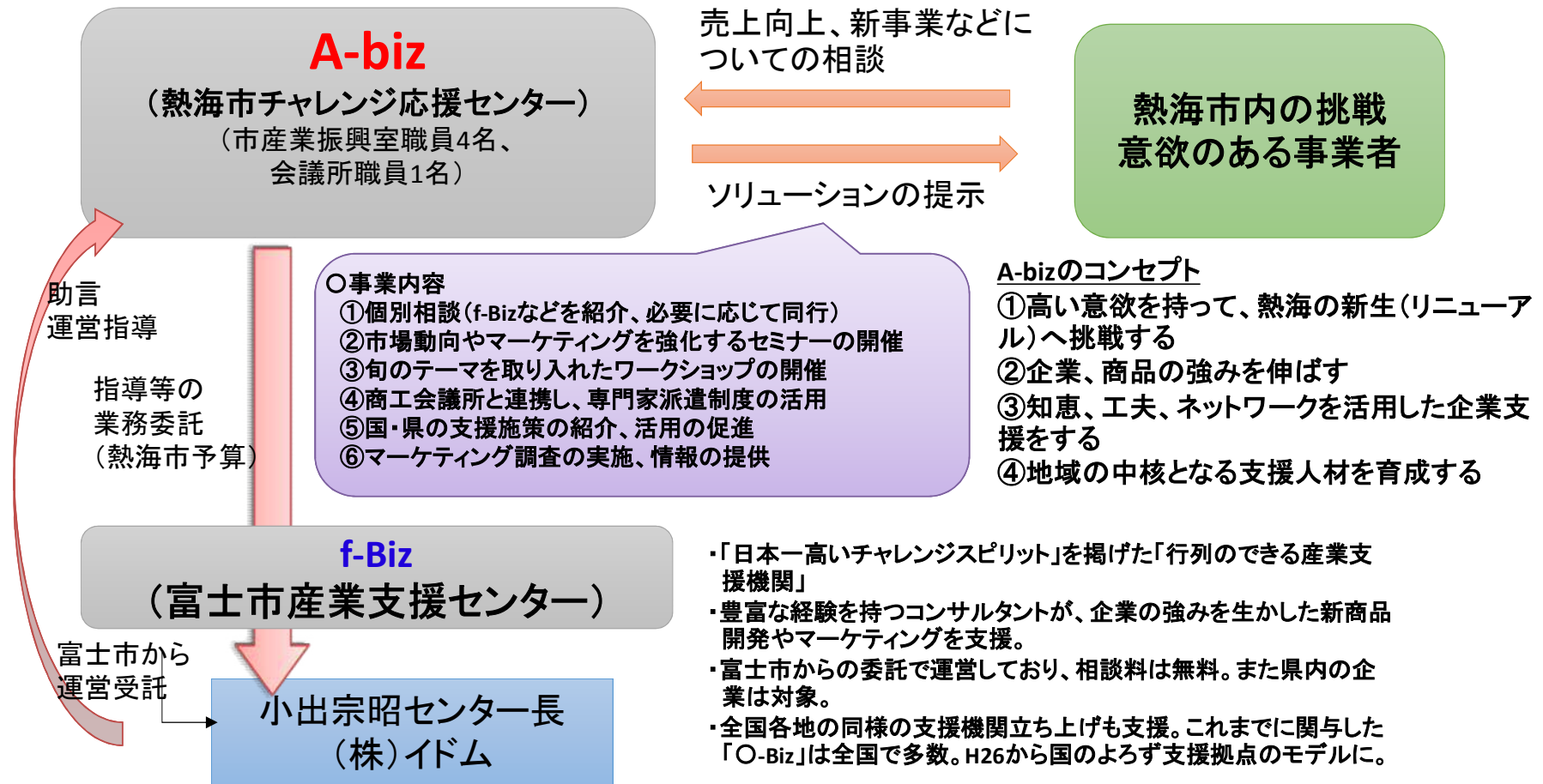


A-biz

ここから始まる、熱海の挑戦

A-biz(熱海市チャレンジ応援センター)H24年に設立しました。

熱海市産業振興室と熱海商工会議所が連携して、従来型の財務・金融中心の支援から、売上向上や新事業など新たな取組に挑戦しようとする市内の事業者を、知恵と工夫、情報とネットワークを駆使して、応援する事業です。運営に当たっては、「行列のできる産業支援機関」として豊富な支援実績があり、全国的なモデルとなっている富士市産業支援センター(f-Biz)と連携し、運営指導等を受けながら行ってまいります。



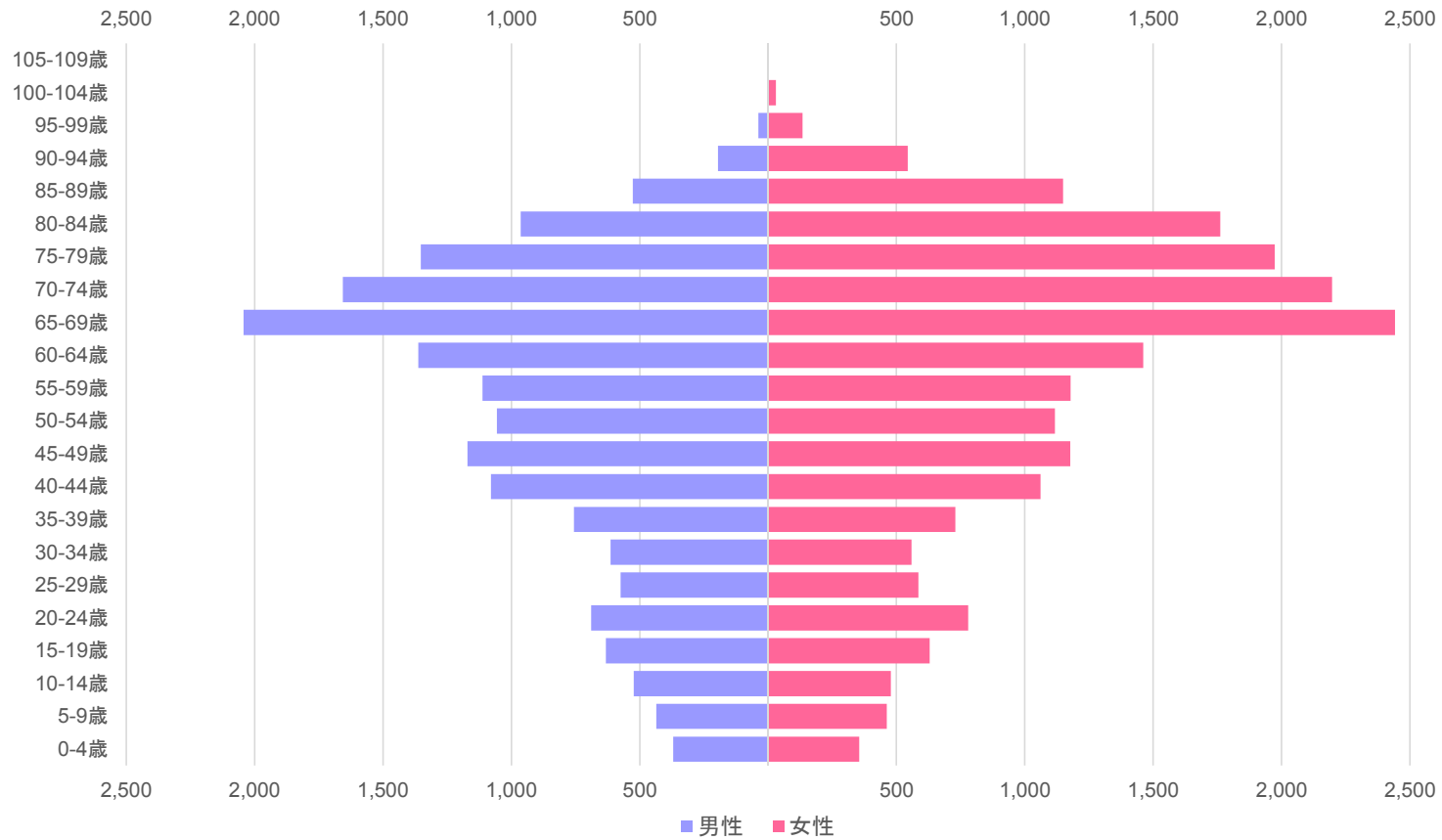
「熱海市」の概要

- 人口・世帯
 - 37,637人（平成28年4月末現在の住民基本台帳人口）
 - 21,372世帯（一世帯あたり1.75人）
- 市制施行
 - 昭和12年4月10日（静岡県下5番目）
 - 《静岡、浜松、沼津、清水、熱海の順》
- 財政規模(H26歳出決算ベース)
 - 28,707,937千円(一般会計及び各特別会計の総計)
 - [主な内訳] ■ 一般会計 17,677,554千円
 - 国民健康保険事業特別会計 6,081,695千円
 - 駐車場事業特別会計 53,957千円
 - 介護保険事業特別会計 4,216,712千円
 - 後期高齢者医療事業特別会計 606,406千円



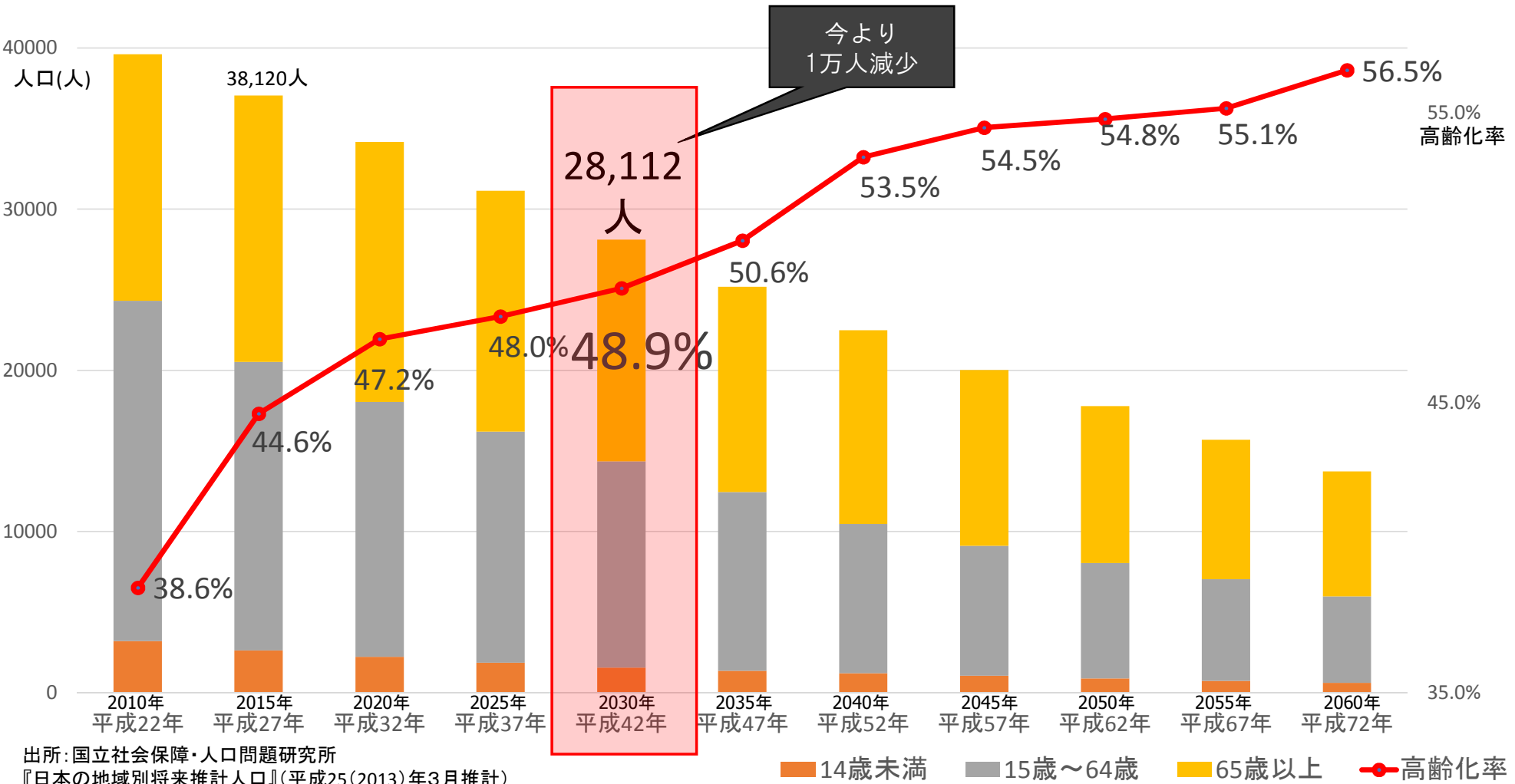
熱海市 年齢段階別の人口構成 (平成28年4月末現在)

人口	37,955人
男	17,163人
女	20,792人
世帯	21,373世帯



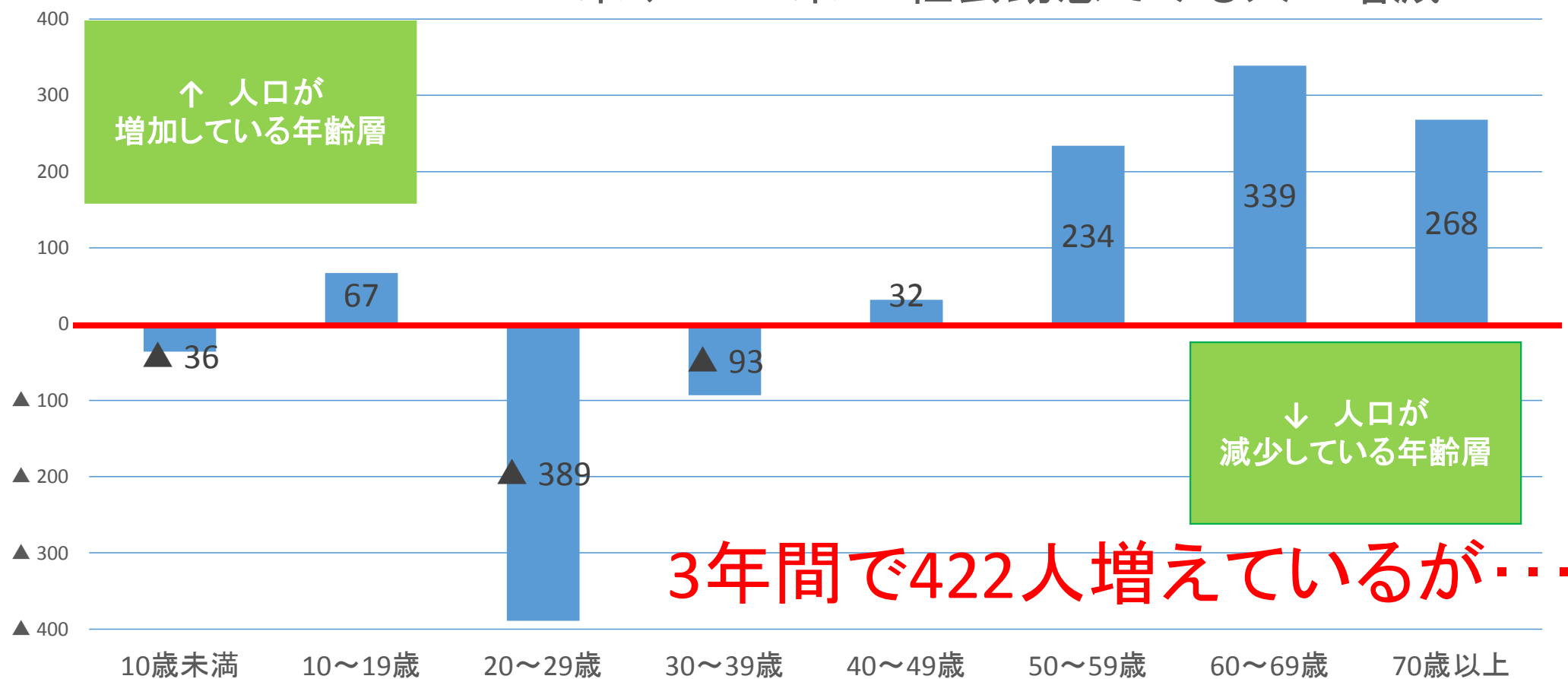
昭和40年に
ピーク 54,540人

急激な人口減少と高齢化率の上昇



高齢層の転入超過 > 若年層の転出超過

H23.4末→H26.3末 社会動態でみる人口増減



人口動態(自然減少>社会増加) 出生数の減

平成	出生	死亡	自然動態	転入	転出	社会動態	人口動態
22年	179	679	▲500	1988	1890	98	▲402
23年	176	711	▲535	1946	1831	115	▲420
24年	153	722	▲569	1986	1867	119	▲450
25年	184	779	▲595	1988	1892	96	▲499
26年	152	680	▲528	1896	1918	▲22	▲550
27年	128	689	▲561	2067	1893	174	▲387

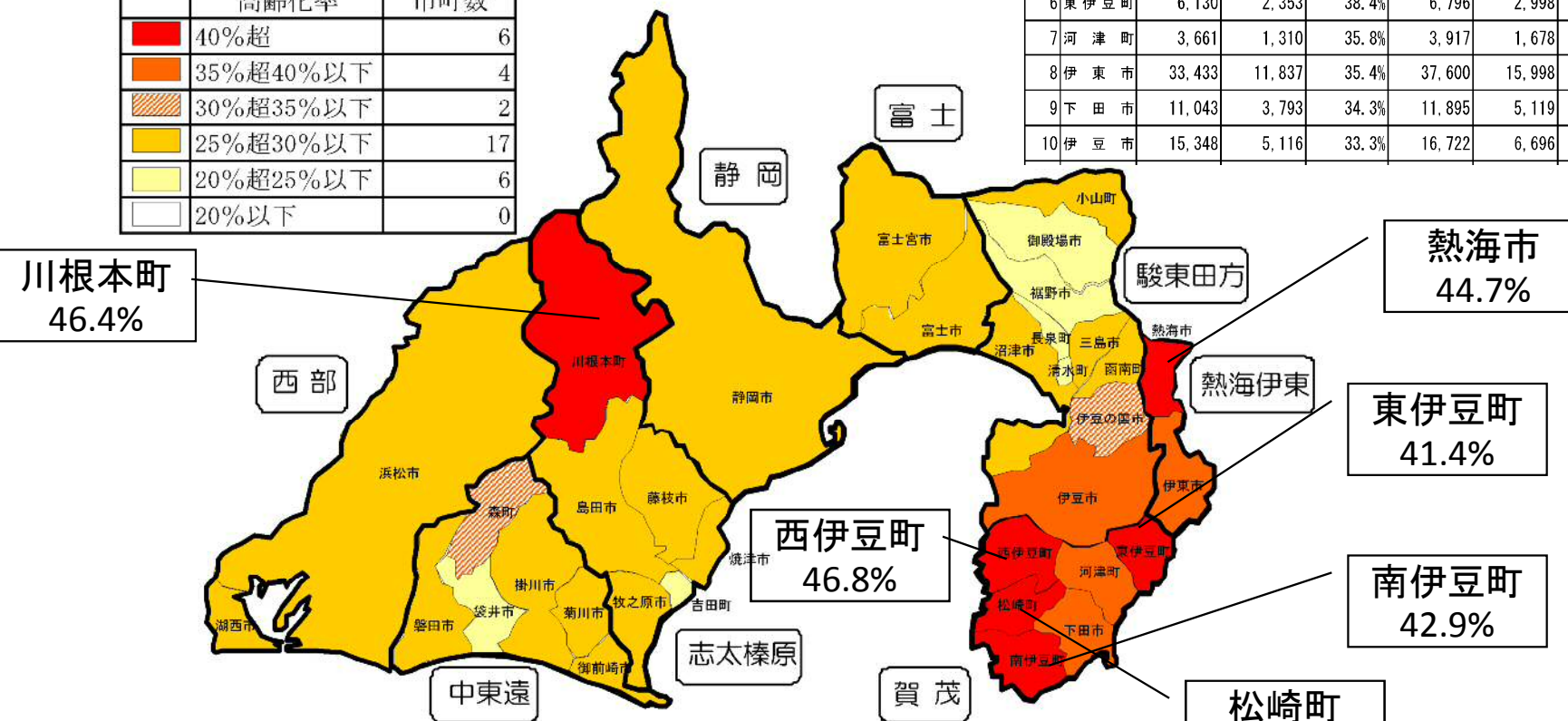
(平成28年4月1日現在 単位：人)

静岡県の高齢化率

<平成28年4月1日>

高齢化率	市町数
40%超	6
35%超40%以下	4
30%超35%以下	2
25%超30%以下	17
20%超25%以下	6
20%以下	0

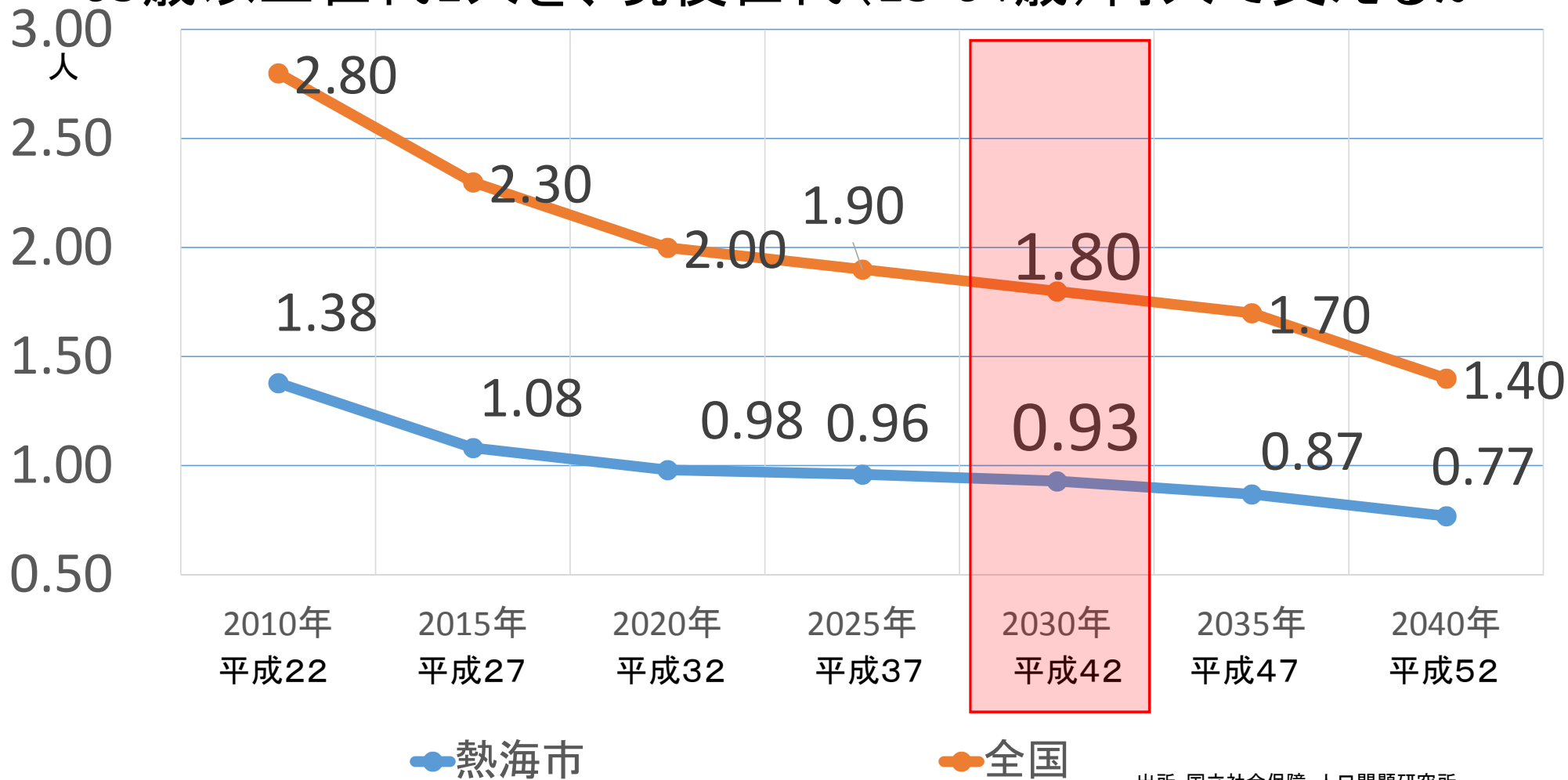
順位	市町名	男			女			計			(参考) 後期 高齢化率
		総人口	65歳以上人口	高齢化率	総人口	65歳以上人口	高齢化率	総人口	65歳以上人口	高齢化率	
1	西伊豆町	4,058	1,719	42.4%	4,526	2,296	50.7%	8,584	4,015	46.8%	25.9%
2	川根本町	3,591	1,486	41.4%	3,803	1,942	51.1%	7,394	3,428	46.4%	29.4%
3	熱海市	17,148	6,754	39.4%	20,779	10,205	49.1%	37,927	16,959	44.7%	22.7%
4	南伊豆町	4,194	1,646	39.2%	4,549	2,103	46.2%	8,743	3,749	42.9%	21.6%
5	松崎町	3,364	1,283	38.1%	3,730	1,743	46.7%	7,094	3,026	42.7%	22.8%
6	東伊豆町	6,130	2,353	38.4%	6,796	2,998	44.1%	12,926	5,351	41.4%	19.6%
7	河津町	3,661	1,310	35.8%	3,917	1,678	42.8%	7,578	2,988	39.4%	20.5%
8	伊東市	33,433	11,837	35.4%	37,600	15,998	42.5%	71,033	27,835	39.2%	18.6%
9	下田市	11,043	3,793	34.3%	11,895	5,119	43.0%	22,938	8,912	38.9%	19.6%
10	伊豆市	15,348	5,116	33.3%	16,722	6,696	40.0%	32,070	11,812	36.8%	18.9%



出所：静岡県
平成28年度高齢者福祉行政の基礎調査結果

危機感「現実」を直視し、衰退の要因を考える／誰のせいでもなく、自分たちのまちの問題

65歳以上世代1人を、現役世代(15-64歳)何人で支えるか・・・

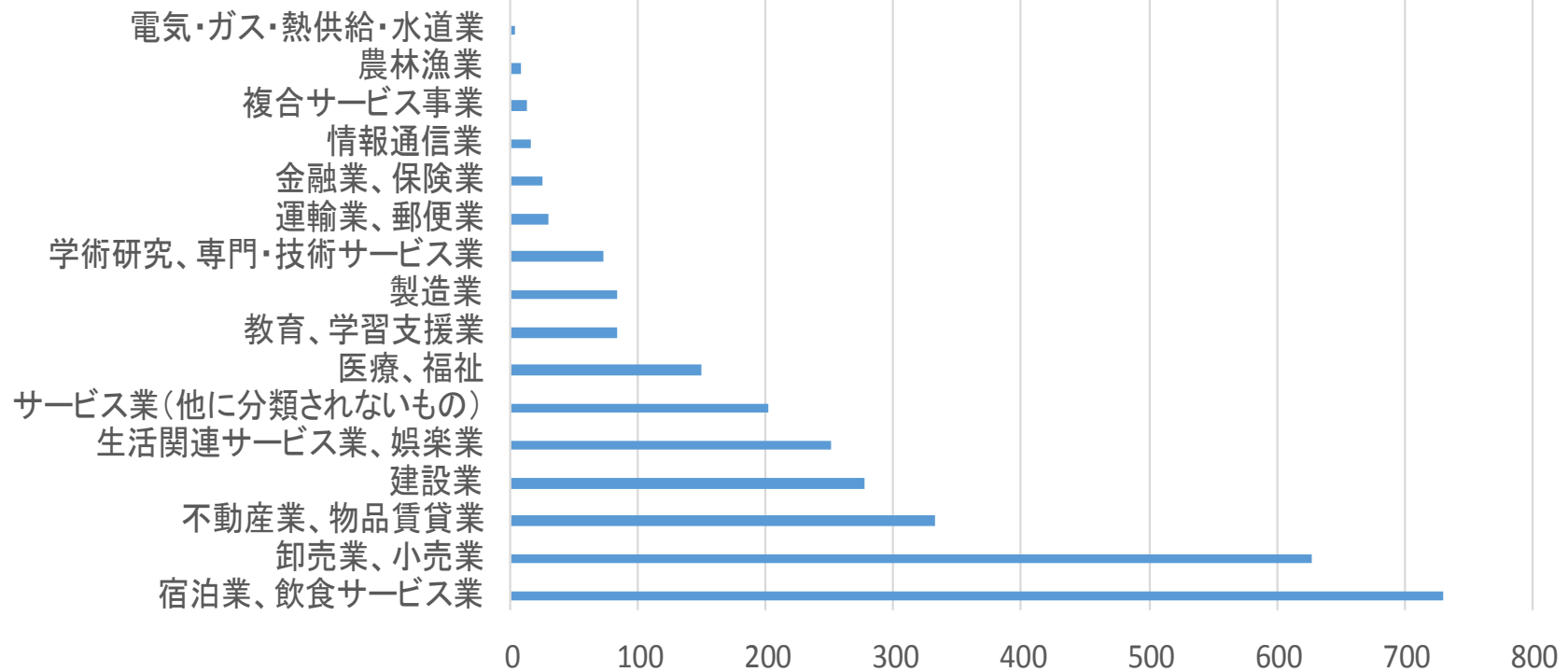


出所: 国立社会保障・人口問題研究所
『日本の地域別将来推計人口』(平成25(2013)年3月推計)

熱海市の産業構造

平成26年7月1日現在 総事業所数 2,974

宿泊業、飲食サービス業24.58% 卸売業、小売業21.12% 全産業の半分を占める





最低賃金の比較(H28.10.5～)

※地域別最低賃金:産業や職種にかかわらず、各都道府県内の事業場で働くすべての労働者とその使用者に対して適用される最低賃金

東京都:932円

千葉県:842円

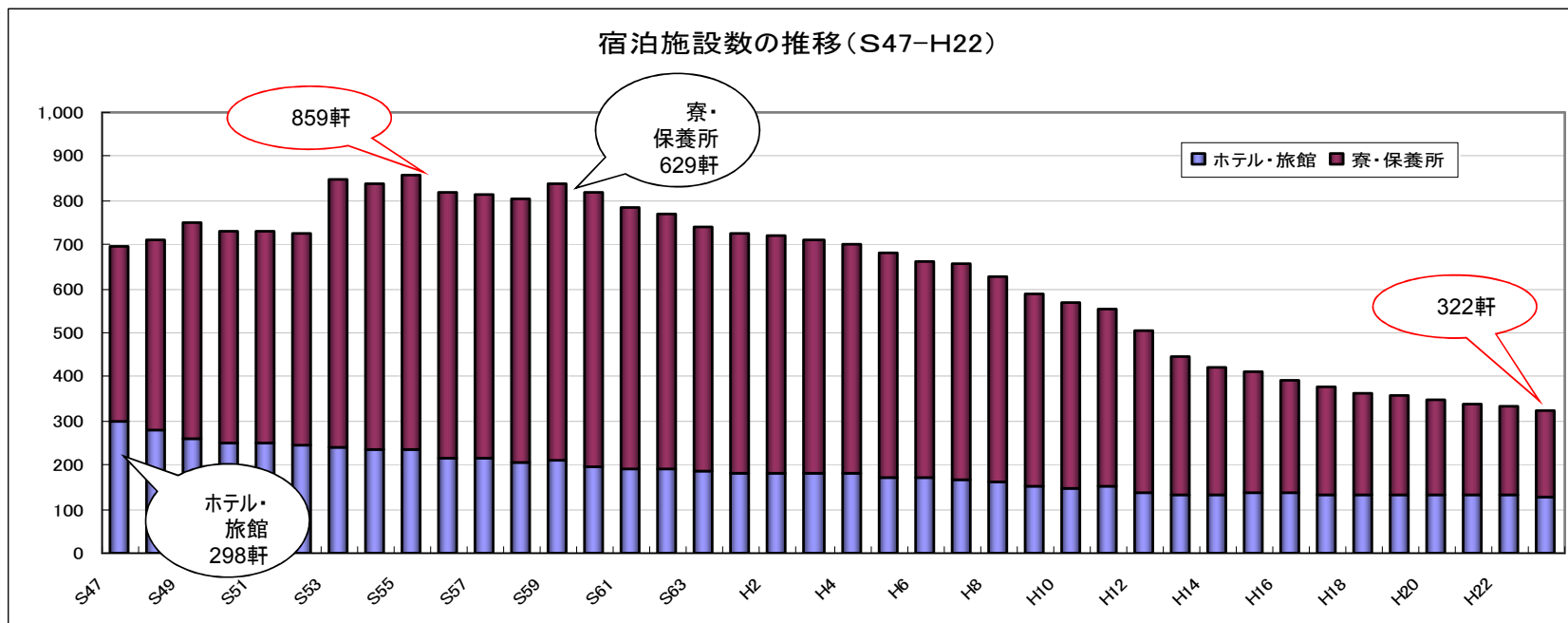
愛知県:845円

静岡県:807円

神奈川県:930円

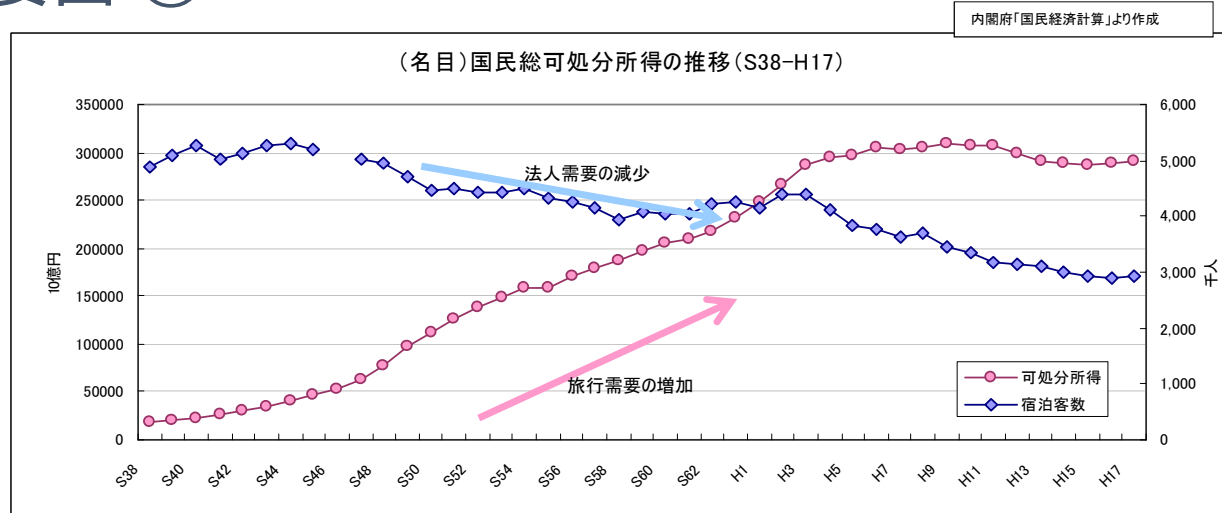
宿泊施設数の推移

- 宿泊客数減少とともに施設数は激減
 - 宿泊施設数のピークは昭和55年(859軒)。
 - ホテル・旅館は、ピーク時(昭和47年)から56.7%減。(H23：129軒)
 - 寮・保養所は、ピーク時(昭和59年)から69.3%減。(H23：193軒)

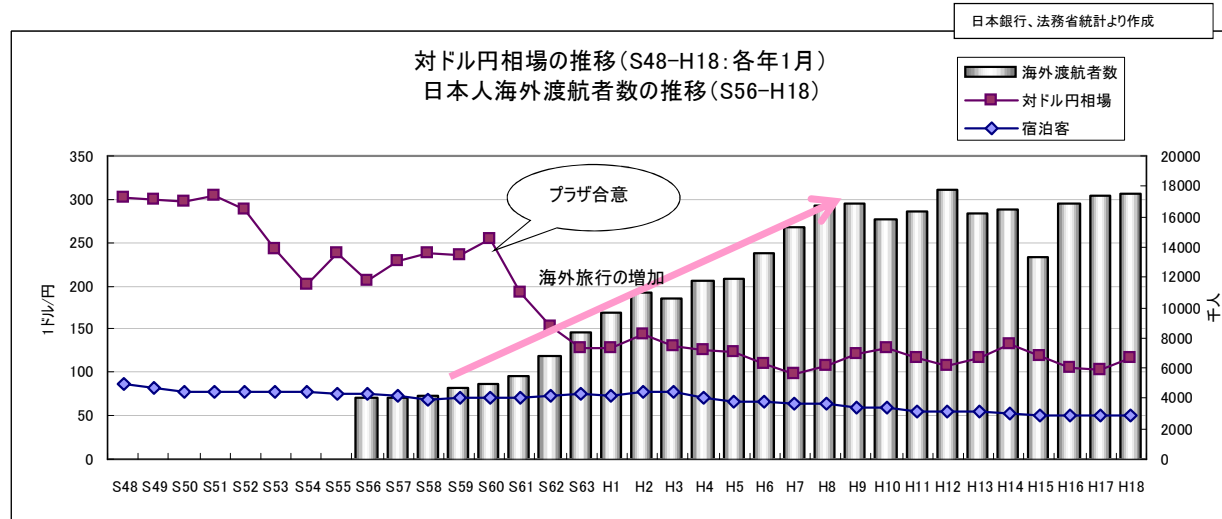


熱海観光低迷の要因 ①

- 国民の可処分所得の上昇に伴い、旅行需要が増加
- 法人需要(団体旅行)からファミリー・小グループ化へ

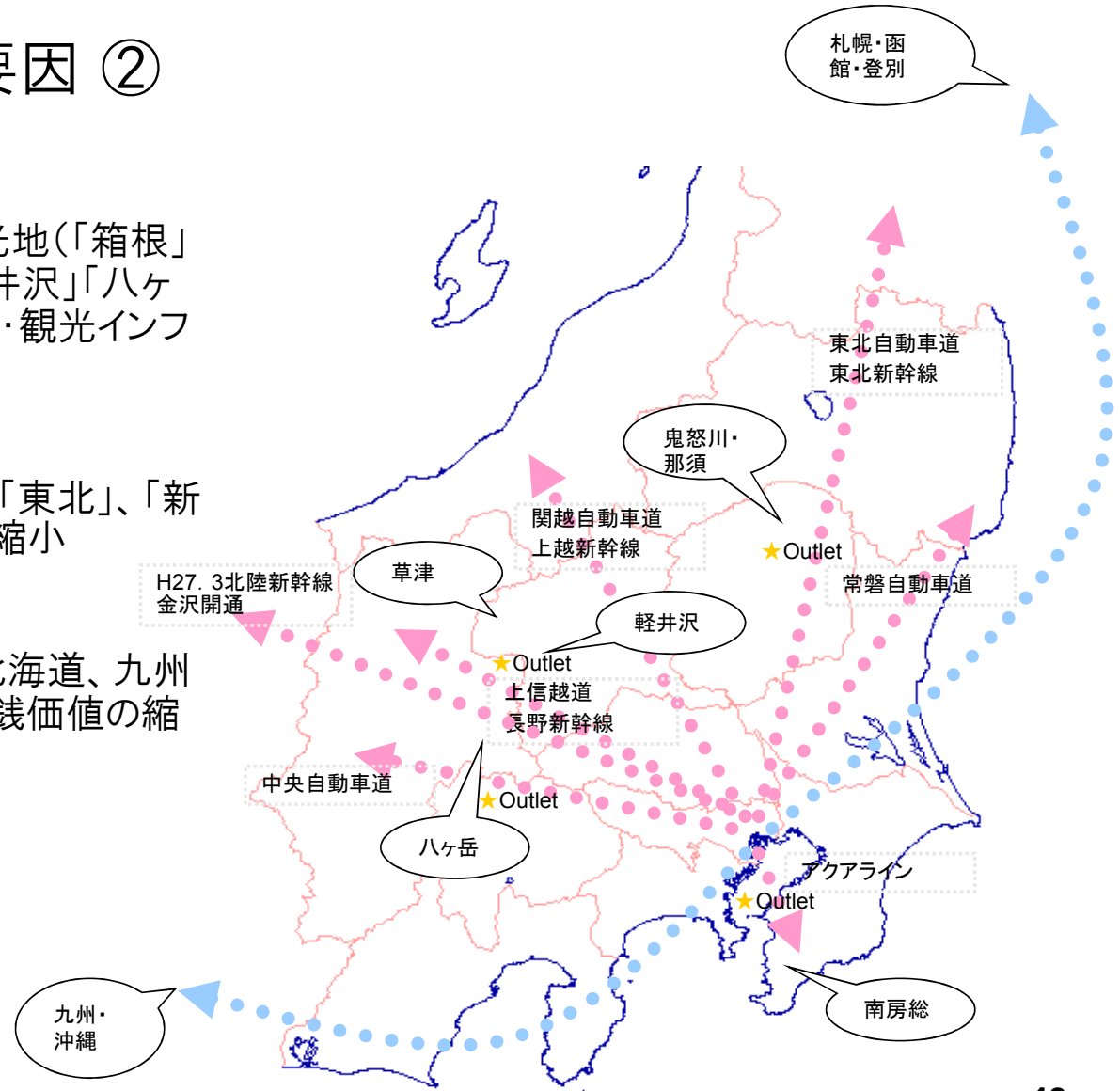


- プラザ合意後、対ドル「円高」で海外旅行需要が増加
- 海外旅行の低廉化により、国内旅行の割高感



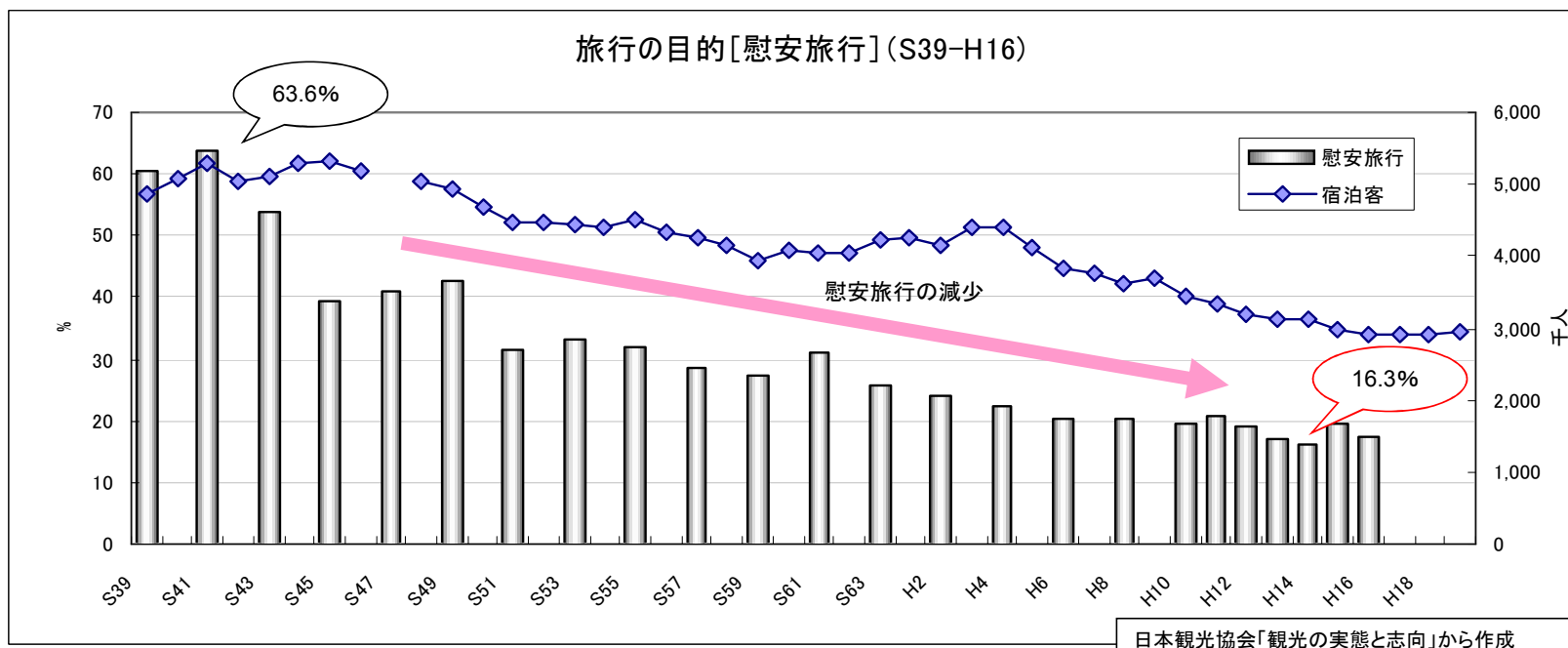
熱海観光低迷の要因 ②

- 首都圏で競合する温泉観光地(「箱根」「草津」等)・リゾート地(「軽井沢」「ハケ岳」「房総」)のアクセス環境・観光インフラの整備
- 高速道路・新幹線の整備で「東北」「新潟」「北陸」との時間価値が縮小
- 航空券とのパック旅行で、北海道、九州の温泉地との時間価値・金銭価値の縮小。

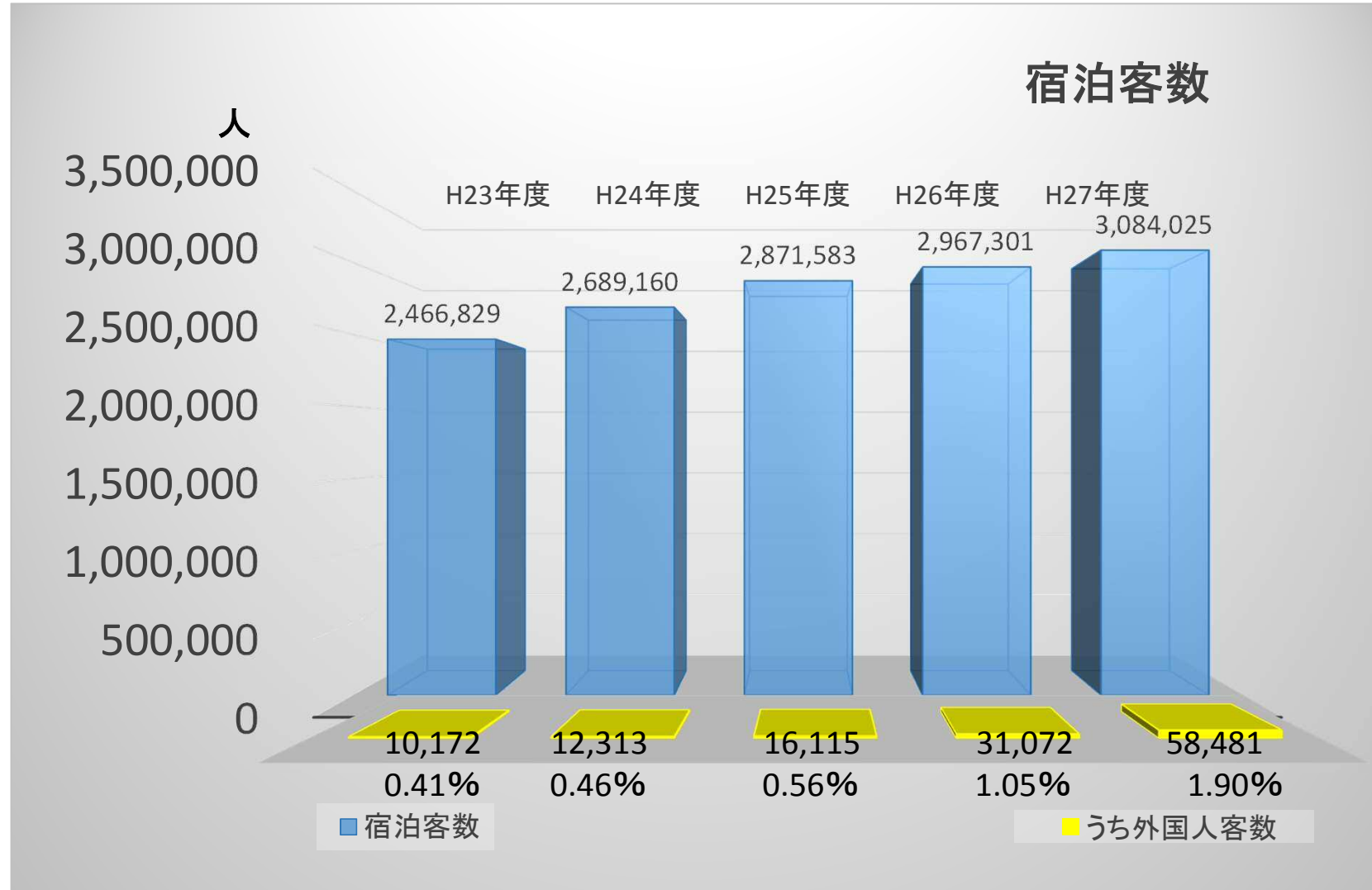


熱海観光低迷の要因 ③

- 旅行の目的が「慰安旅行」から、「自然・名所行楽」「温泉」「スポーツ・レクリエーション」などに多様化してきた
- 昭和41年の63.6%が、平成14年には16.3%まで低下。

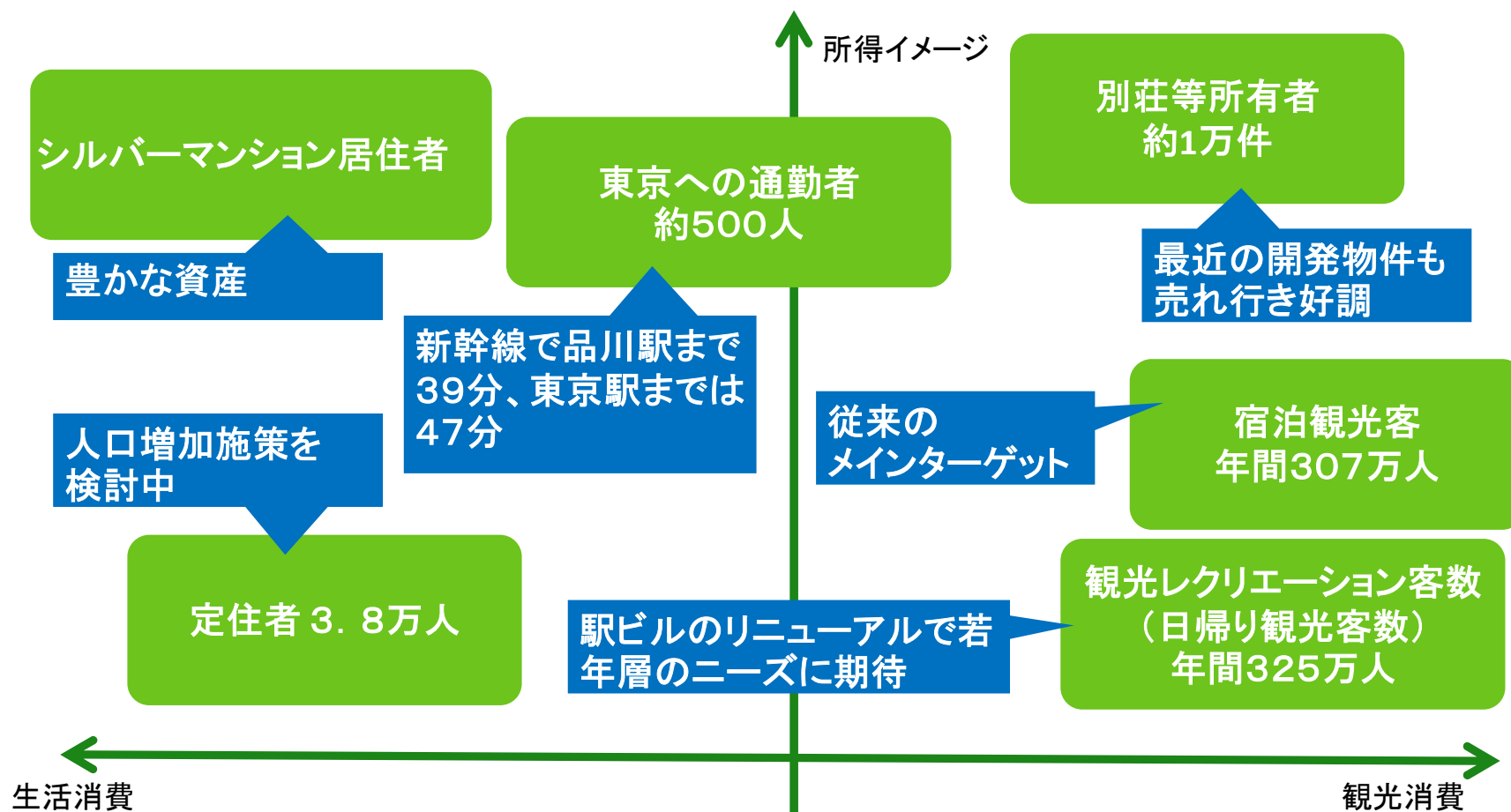


危機感「現実」を直視し、衰退の要因を考える／誰のせいでもなく、自分たちのまちの問題



重層的な消費者層

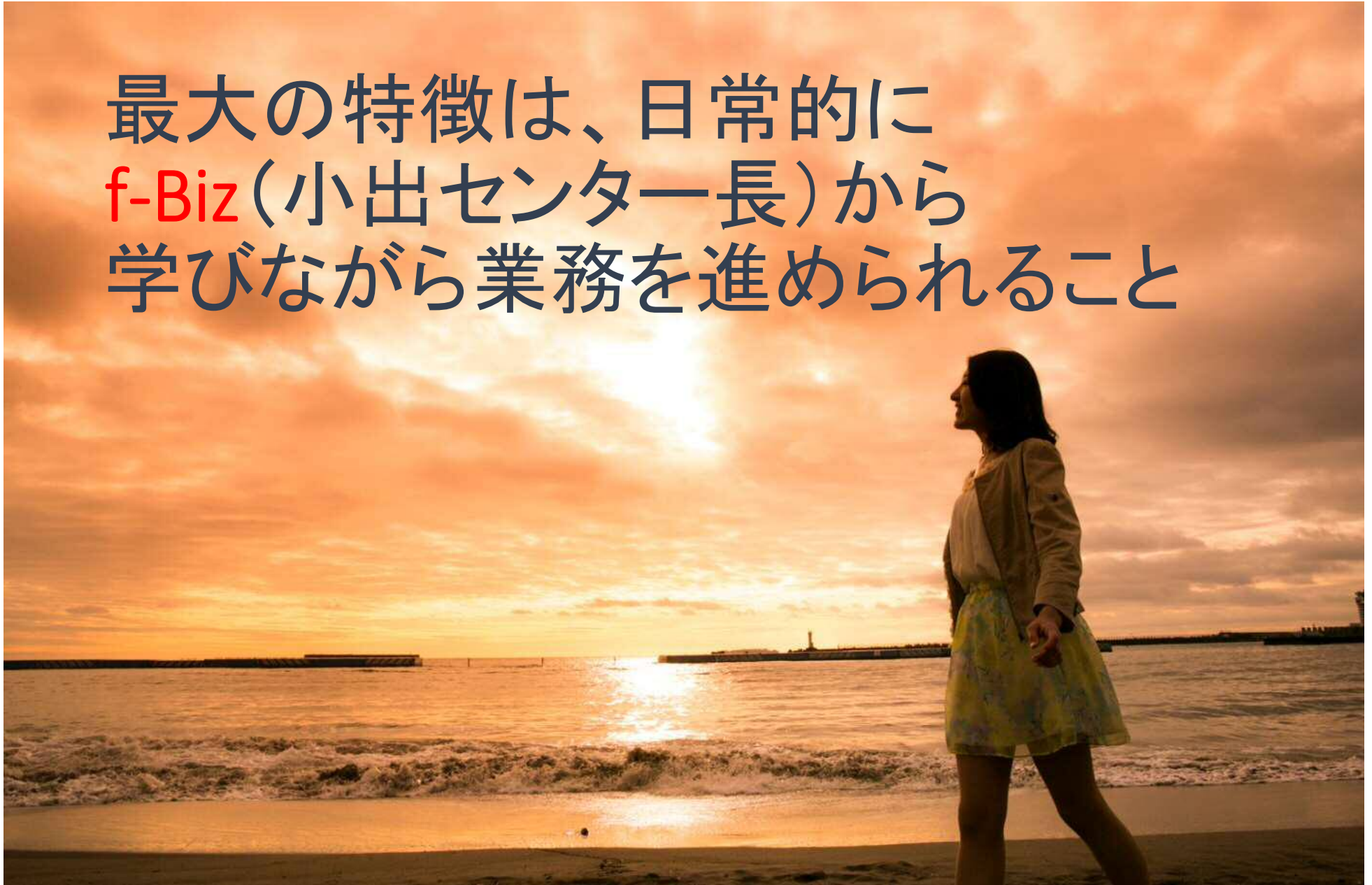
人口3.8万人以外に別荘等所有者、多様な消費者層が存在





熱海から
日本の観光を元気に！

最大の特徴は、日常的に
f-Biz (小出センター長) から
学びながら業務を進められること



平成29年度A-biz(熱海市チャレンジ応援センター)

【開設日】週5日
【スタッフ】
アドバイザー週3日(週2日f-Biz)
随時市職員、会議所職員

総合アドバイス
f-Biz
(アドバイザー募集・
研修・派遣)

A-biz
チーフアドバイザー
相談業務・コーディネート
熱海市産業振興室 熱海商工会議所

各団体・機関
(観光協会・
旅館組合・
飲食業関係団体・
商店街連盟)

熱海市
・相談補助・相談記録管理
・f-Bizとの調整
・市プロモーション連携
・広報支援 等

熱海商工会議所
・相談補助
・専門家派遣
・各種制度
・融資相談
・創業支援連絡会

Make **A**tami
Great **A**gain !



A-bizの最大の特長

- f-Bizを運営するイドムの第二の拠点になるということ。
- 週2日はf-Bizで勤務していただきます。日常的に小出センター長の相談から学び、業務を進められる。そんな環境で勤務できるBizモデルは、現在のところA-bizだけ。
- 中小企業支援の最先端に身を置きながら、熱海でチャレンジする人たちをサポートする。そんな刺激的な毎日が、あなたを待っています。
- 熱海が元気になれば、日本の他の温泉地の、そして観光地の希望になります。豊富な経験を積み、結果を残してきたあなたにこそお願いしたい仕事です。

Make Atami Great Again !

**あなたの応募を
お待ちしております!!**